



# そのき



2020年4月17日(金)  
新潟市立曾野木小学校 学校だより  
第264号  
<http://www.sonoki-e.city-niigata.ed.jp/>



例年どおりでないことが続いた日々

地域や保護者の皆様の *yell* (エール) に感謝!

校長 青木 清美

## 【変わってしまった・・・新型コロナウイルス感染拡大の影響で】

2月下旬から春休み終了まで、子どもにとっても、学校にとっても例年とは違う日々でした。

- 3月、多くの子どもたちは、学校で、友達と一緒に勉強したり遊んだりできなかった。後半になってやっと、保護者が見守る中でグラウンドや公園などで遊ぶことができた。
- 1～5年までの児童、そして地域の皆様が参加できなかった卒業式(3月25日)
- 2～6年までの児童、そして地域の皆様が参加できなかった入学式(4月7日)

1～5年生(進級した現在は2～6年生)も、卒業式で、6年生への感謝の気持ち、後を引き継ぐ気持ちを伝えたいという思いがありました。その思いが卒業生に伝わりました。6年生は、ほとんど練習する時間がなかったにもかかわらず、卒業式で素晴らしい歌(十分に間隔を空けた上で)と「夢」・「決意」・「感謝」の言葉、メッセージを披露してくれました。

また、入学式では、例年より短時間だったとはいえ、1年生が大変立派な態度で式に臨んでいたのが印象的でした。(隣の席と十分に間隔を空けて座りました。)

## 【変わらない・・・地域や保護者の皆様からの *yell* (エール)】

変わってしまったこの日々、でも変わらないものがありました。それは、曾野木小学校と子どもたちに対する地域の皆様方のエールです。

温かい見守り、応援してくれる気持ち、励ましの言葉、協力してくださる気持ち、行動がひしひしと伝わってきます。

「この状況だから仕方ないけど、卒業式も入学式も出席してお祝いしたかったなあ。」といった嬉しい言葉を多く聞くことができました。

また、4月3日に、地域の方、ボランティアで来てくれた子どもたちが、グラウンドやその周り、タイヤ広場、玄関前の花壇のゴミ拾いや環境整備をしてくれました。おかげで、教職員はもちろん、1か月ぶりに登校してきた子どもたちも気持ちよく学校に入ることができました。ありがとうございました。

## 【4月6日からの学校、少しずつ日常を取り戻していますが・・・】

4月8日、1年生の下校の見守りで学校においでになったセーフティスタッフや地域の皆様。

休み時間、元気にグラウンドに飛び出していく子どもを見て、「こんにちは」のあいさつを聞いて、

「校長先生、これが学校ですね。子どもの声が響き、友達と外で遊ぶ。(もちろん適度な距離を取って)」

地域の皆様からのエールをいただき、学校も子どもたちも前へ進むことができます。

こういう状況ですので、学校行事や教育活動、PTA活動等について、検討・見直しを行っています。実施時期が例年と変更になることがあります。また、今年度は、中止とか、実施場所、やり方を変更するということが起きてきます。4月13日のPTA評議員会は、大勢の人が体育館に集まるのを避けるようにして実施しました。

